

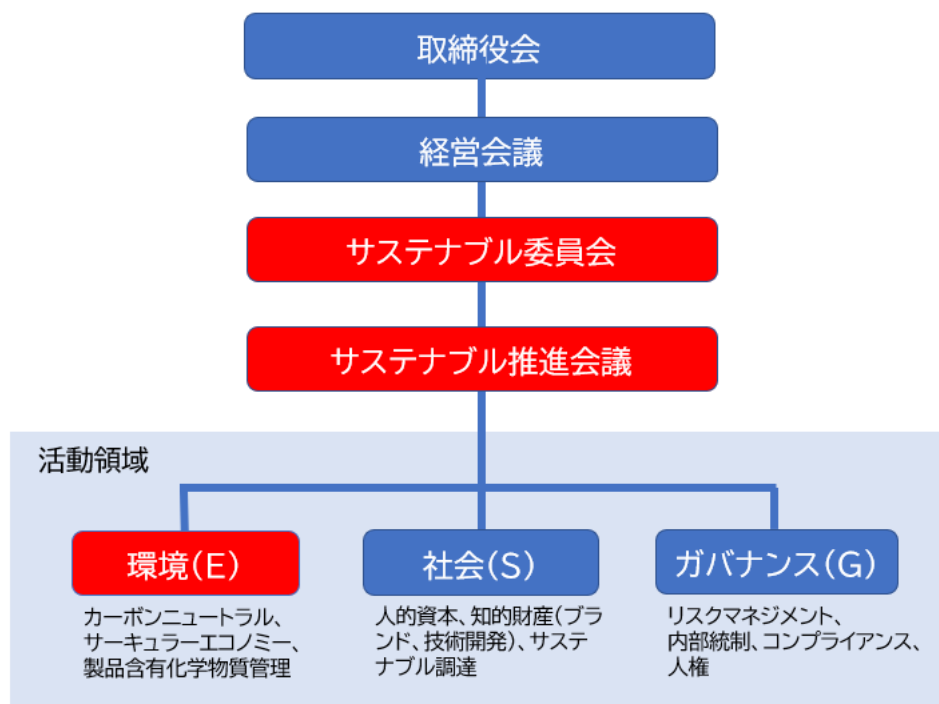
ノーリツグループ環境方針

I. 基本的な考え方

ノーリツグループは「きれいな地球を次の世代へ」をスローガンに、「持続可能な社会」の実現に向け、その三要素である「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の構築に貢献しています。製品及び事業活動を通して、気候変動の緩和や適応、酸性雨の緩和、エネルギー使用の削減、サーキュラーエコノミー（省資源・リサイクル等を通じた循環型経済）、製品含有化学物質管理、生物多様性・生態系保護、水資源の有効利用、汚染の予防に取り組んでいます。積極的な活動の推進とパフォーマンスを向上させるため、「環境マネジメントシステム」を活用し、改善を継続的に行います。また、事業活動に関連する「法的及びその他の要求事項」を順守するとともに、社内外への環境コミュニケーションも積極的に行います。

II. 推進体制

ノーリツグループは、環境保全活動を推進するための仕組みとして、環境経営推進体制を構築しています。本方針に基づく具体的な取り組みは、サステナブル推進役員（経営戦略統括本部長）が委員長を務め、社長を含む全社内取締役、常務執行役員が出席するサステナブル委員会において、環境戦略・人権・調達・コンプライアンス・リスクマネジメントなど、ESGに関するテーマを網羅的に取り上げ、PDCAをマネジメントしています。執行部門をまたがる個々の重要な課題に対しては、経営企画部が中心となり、グループ会社も含めたワーキンググループを設けて対応します。



Ⅲ. 取り組み

1. 低炭素社会の構築

1) 製品による CO2 排出量の削減

ノーリツグループが製造・販売する設備機器がそのライフサイクルで排出する温室効果ガス (CO₂) は、大部分が使用段階で排出されます。低炭素社会の構築に向け、お客さまの快適性・利便性を損なうことなく、温暖化対策に貢献する設備機器を提供できるよう、高効率温水機器のラインナップの拡充などの商品開発に取り組みます。

2) 環境に配慮した事業活動

ノーリツグループは、地球温暖化の原因となる CO₂ の排出量削減、省エネルギー活動、廃棄物の削減と資源循環の推進、環境汚染の予防・防止に、継続的に取り組んでいます。流通においても輸送の効率化を図り、CO₂ 排出量の削減に取り組めます。

3) 森林カーボン・オフセット

J-クレジット制度を活用したカーボン・オフセットを 2011 年より継続しておこなっています。「ハイブリッド給湯・暖房システム」とガスふろ給湯器の「GT-C72 シリーズ (オートタイプ除く)」の生産時に排出される CO₂ および、特例子会社株式会社エスコアハーツの給湯器リサイクル工場、土山事業所でのエネルギー使用に伴い排出される CO₂ をオフセットしています。環境配慮商品を使う時だけでなく、つくる時も環境に配慮した商品にして

いきたいと考え、カーボン・オフセットを推進します。

2. 循環型社会の構築

1) 給湯器リサイクル事業の促進

ノーリツグループでは、地球資源を利用して給湯器という金属製品を製造するメーカーとして、販売事業者さま、福祉施設さまとの協働を通じて、使用済み給湯器を直接回収・分解し、資源循環につなげるリサイクルや使用資源の削減の取り組みを推進しています。回収した使用済み給湯器は、鉄・銅・アルミ・ステンレスなどの非鉄金属素材などに分解し、再資源化に努めます。この分解・再資源化の工程は障がい者の就労機会も創出しています。

2) 製品・梱包における資源の有効利用

循環型社会を構築するためには、社会全体での最適化を図るよう取り組む必要があります。自社の事業範囲だけでなく上下流のサプライチェーンを見据え、資源利用全体の実像を考慮して、環境配慮設計（小型・軽量化）に取り組んでいます。また、ライフサイクル全体での評価に基づいた広範囲な視点で、自社製品が廃棄された後の再資源化と再生資源の利用の推進に取り組む必要があります。ノーリツグループの製品は、長寿命・高い安全性を検証しつつ、製品の 3R 対応設計を推進しています。また、製品の梱包材においても、リターナブル梱包などの 3R 対応を推進します。

3) 廃棄物削減の取り組み

ノーリツグループでは、事業活動を通じて廃棄物の削減と資源循環の推進に取り組みます。また、生産事業所にてゼロエミッション達成を目指しています。

3. 自然共生社会の構築

1) 製品含有化学物質管理の取り組み

ノーリツグループは、製品含有化学物質管理システムの構築と調査依頼・回答を通じてサステナブル調達強化に取り組んでいます。製品含有化学物質管理については、昨今の国内外の動向や関連法規制を包括した「ノーリツグループ製品含有化学物質管理指針」に基づいた管理をおこなっています。RoHS 指令、REACH 規則等に代表される製品含有化学物質の規制は強化・拡大されていく傾向にあります。これに対応していくために設計・購買・品質保証・製造・営業といったノーリツグループ内での取り組みだけでなく、取引先さまとの協働が不可欠になります。そのために、「サステナブル調達ガイドライン」を制定し、地球環境との共生を掲げ、取引先さまとの共存共栄に努めます。

2) 水資源の有効利用

ノーリツグループでは、水を貴重な資源と考え有効活用するため、事業所・工場での節水

活動や再利用水の活用を通じて、上水使用量の低減に努めています。主要生産拠点の1つ本社工場内の開発センターでは、水の再利用システムを整備して実験等に使用しています。再利用水の生成により、大幅な上水使用削減に成功しています。今後も水の再利用率を向上し、上水使用量の削減に努めます。

IV. リスクと機会

事業活動において想定される環境関連のリスクと機会

項目	リスク	機会
低炭素社会	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動を引き金とした低炭素化による市場環境の変化 環境規制への対応コストの増大 	<ul style="list-style-type: none"> 低炭素化による新たな市場の創造 環境優位性のある商品開発による市場開拓やシェア拡大
循環型社会	<ul style="list-style-type: none"> 原料資源の枯渇による事業継続危機の発生 プラスチック(樹脂)使用に関する規制強化(削減要求の発生) 	<ul style="list-style-type: none"> 給湯器リサイクル事業拡大による新たなビジネスモデルの創出 サステナブル資材の利用促進による競争力の獲得
自然共生社会	<ul style="list-style-type: none"> 世界各国、地域ごとの有害物質規制に対応しないことによる販売禁止 化石燃料、自然由来の原料調達が困難になることによる事業の停滞 水資源の枯渇による給湯器使用規制 	<ul style="list-style-type: none"> 有害物質に関する安全・安心の付加価値による市場競争力獲得 自然共生に配慮した企業活動によるメーカー選定の優位性とブランド力向上 水資源の活用に配慮した節水商品開発による市場開拓やシェア拡大

V. 環境経営に関する指標・目標

環境経営に関する実績および目標（KPI）は、マテリアリティとして設定しており、年2回のサステナブル委員会での進捗を報告するとともに、ノーリツレポート・ホームページ開示をおこなっています。

・ノーリツグループ ESG データ > [ESG データブック | ノーリツ \(noritz.co.jp\)](https://www.noritz.co.jp/esg)

2024年 4月 19日
株式会社ノーリツ
代表取締役社長

腹卷知